

# 平成22年度一般会計予算賛否討論

# 予算特別委員会

(2・3ページ)

平成22年度一般会計歳入歳出予算の審査状況から、主なものをお知らせします。

## 賛成討論

**市民フォーラム**  
本予算は、大きな景気低迷が続く中で編成することを余儀なくされた。  
そのような中、各種の生活・就業支援の拡充、安心でいきいきと暮らせるまちづくりに関する手厚い施策展開を行っていくことなどについて評価する。  
施策の推進や財政運営にあたっては、施策評価システム等を活用するとともに、市民への情報公開などの徹底を図り、説明責任をより積極的に推し進めた市政運営を要望する。

**府中市議会市政会**  
本予算は、景気の悪化により市税等の収入減が見込まれる中、基金繰入れや臨時財政対策債等により、歳入の確保がなされた。市民生活を守り、市内経済の安定を図ろうと、引き続き緊急経済・生活支援対策として21事業が実施されるほか、福祉、環境対策などの更なる充実を図り、市民が安心して暮らせるよう、新規で34事業が実施されることは、厳しい財政状況の中で、行政サービスを維持し、市民生活を守る姿勢を打ち出した意味からも大いに評価するに値する。「心ふれあう 緑ゆたかな 住みよいまち」の実現を図る府中にふさわしい予算と確信し、本予算に賛成する。

## 反対討論

**生活者ネットワーク**  
平成22年度は第5次府中市総合計画後期基本計画における前半3年間の仕上げの年であり、今後の市の方向性を決める重要な年度である。  
市民生活を守り、明日に踏み出す活力ある予算編成であるならば、歳入不足に直面している現状で、見直すべきは投資的経費のほうである。しかし、この投資的経費については、どのような政策的判断のもとに決定されたのか、説明が不透明である。また、今後の市の重要な課題である庁舎建設や府中駅南口A地区再開発等の方針や説明も明確に示されていない。  
以上の理由から、本予算に反対する。

**日本共産党府中市議会議員団**  
日本の経済危機が深刻であるが、国の予算案では抜本的な生活支援策はとられていない。このような中、本予算が市民生活を最優先に検証するものとなっていないのかを検証してみようと、緊急経済・生活支援対策が拡大されたことは評価できる。しかし、ごみの有料化など新たに負担が生じる一方で、庁舎建設基金積立てが計上され、府中駅前再開発への巨額の税金投入も見直しがなく進められようとしている。また、障害児関連の二つの予算が削られ、障害児教育に対する市の根本姿勢が疑われる。  
真に暮らし優先の予算とは言えないため、本予算に反対する。

## 歳入

### 財源の不足とその対応は

**委員** 経済不況の中、平成22年度一般会計予算については、様々な所で財源の不足が生じていると思うが、その状況は。  
また、財源不足への対応と、今後の財政見通しを聞きたい。  
**財政課主幹** 市税や国からの交付金等の減などを主な要因とし、歳入全体では、約37億円の財源不足である。不足に対しては、基金の繰入れで26億円、臨時財政対策債で11億円の財源補てんをしている。  
23年度から25年度の財政見通しは、毎年度およそ47億円の不足が生じると試算している。  
経済情勢が不透明な中で、しばらくは厳しい財政状況が続くと考えており、早急に歳出の見直しを図っていく必要がある。

### ごみ有料化による収入の用途は

**委員** 平成22年2月より、有料袋による家庭ごみの有料化が始まった。当初、家計の負担が増え大変、たとの声が多かったが、現在の状況はどうか。また、ごみ有料化による収入の用途について聞きたい。  
**ごみ減量推進課長** ごみの料金設定については、廃棄物減量等推進審議会からの答申などに基づいて、ごみ1リットルあたり2円の負担とし、世帯では年6000円程度の負担となる。  
市民の中には、有料化に伴いごみを減らそうという動きが芽生えてきており、順調にスタートできたと思う。  
有料化による収入は、一義的にはごみの収集・運搬費用に充てるが、それに加えて、リサイクルの推進、環境への取組等に有効に活用していきたい。

## 歳出

### 各種がん検診について 国や都からの補助制度は

**委員** 疾病予防対策で子宮頸がんや乳がんの検診については、国からの補助制度があるとのことだが、そのほかのがん検診についても国や都からの補助制度があるのか聞きたい。  
また、新たな検査方法にPET検査などがあるが、市のがん検診で実施する考えは。  
**健康推進課長** 子宮頸がん、乳がん検診については、国から都を通して2分の1の補助を受けているが、そのほかのがん検診には補助制度はない。  
また、PET検査等については、金額が高いという問題があり、今後、限られた予算の中で検討していきたい。  
※PET検査：体内のブドウ糖代謝からがん細胞を見つける検査法

### 庁舎建設等検討協議会(仮称) 検討する内容は

**委員** 本市の庁舎は三多摩で一番古い庁舎であり、関東大震災や阪神淡路大震災クラスの地震では多数の死傷者が出る恐れがあるため、一刻も早く計画を進めなければならぬと考える。  
そこで、庁舎建設等検討協議会で検討する内容と今後の予定を聞きたい。  
**政策課主幹** 同協議会では、新庁舎建設の基本的な考え、位置、備えるべき機能や規模などの基本構想の策定について検討することとしており、

### 学校校庭の芝生化 今後の予定は

**委員** 平成21年度にモデル校として、第二・第五小学校の2校で、学校校庭の芝生化が実施された。  
22年度予算においては、1校のみの実施しか予定されていないが、なぜなのか聞きたい。また、今後の学校校庭の芝生化の予定は。  
**学校耐震化等推進担当主幹** 22年度については、財政的な部分を考慮して、1校のみの実施となる。  
今後の予定については、22年度に2校の実施設計予算を計上し、23年度にはその2校の芝生化を実施していく。  
また、それ以降は可能であれば、計画において、毎年度2校程度の芝生化の実施を予定している。

### 見守り支援事業 所得制限を設けた理由は

**委員** 認知症対策事業費の中の見守り支援事業では、認知症の方を介護している家族の負担を少しでも軽減することを目的に、認知症の方の見守りや話し相手になるなどの支援をするとのことだが、同事業のサービスを利用する際の要件に所得制限を設けた理由を聞きたい。  
**地域包括支援センター担当主幹** 同事業に類似した事業として、社会福祉協議会による有償の在宅福祉サービス事業があり、ある程度の所得がある方については、この事業の利用を勧めていきたい。なお、見守り支援事業の要件については、介護保険料の第1から第5段階を対象とする予定である。



▲府中市庁舎

議会とも十分に協議をしながら進めていく必要があると考へている。  
今後は平成22年7月頃までに同協議会を立ち上げ、全6回の開催を予定している。